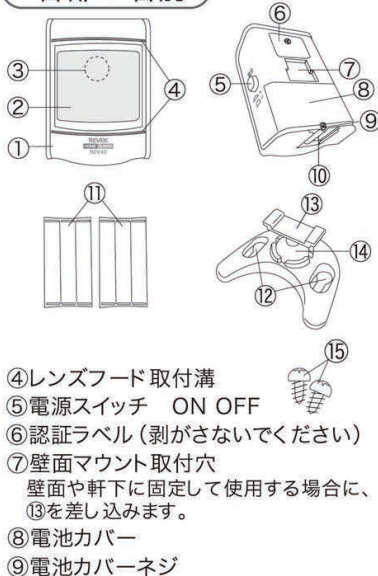


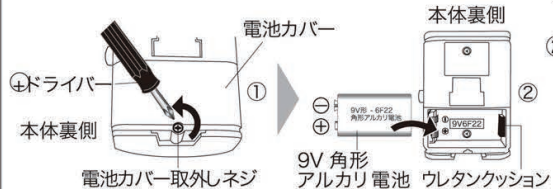
40 各部の名前



- ① モーションセンサー送信機本体
- ② モーションセンサー検知レンズ
内蔵のモーションセンサー(赤外線パッシブセンサー)に赤外線を集めるレンズです。24ビームに分かれて集光します。
- ③ (1) 送信表示ランプ (赤色)
センサーが検知すると電波を出し、約2秒間このランプが赤く光ります。10秒間待機後、検知モードになります。
(2) 電池切れ表示ランプ (赤色)
電池残量が少なくなると6.0~6.2V以下、2~4秒ごとに0.1秒間ランプが点灯し続けます(約1週間)。このランプが点灯中は、使用できません。
(3) ウォーミングアップ表示ランプ (赤色)
電源スイッチをONにすると、表示ランプが2.5秒点灯、2秒消灯を40秒間繰返します。
- ④ レンズフード 取付溝
- ⑤ 電源スイッチ ON OFF
- ⑥ 認証ラベル (剥がさないでください)
- ⑦ 壁面マウント取付穴
壁面や軒下に固定して使用する場合に、⑬を差し込みます。
- ⑧ 電池カバー
- ⑨ 電池カバーネジ
- ⑩ スタンド取付穴
机や棚上に置いて使用する場合に、⑬を差し込みます。
- ⑪ センサー検知範囲調整用レンズフード
45°×2枚、15°単位にカット可能。
- ⑫ ネジ取付穴
- ⑬ 壁面・スタンド共有マウント
- ⑭ 角度調整ポールマウント
- ⑮ 壁面取付ネジ

40 電池の入れ方・交換方法

電池の入れ方 (新品の9V角形アルカリ電池を入れてください。)



電池の交換について

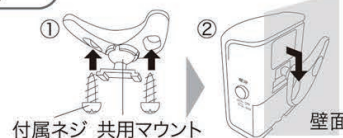
- 電池寿命は1日10回作動して約6ヶ月です。(気温 20°C時)
- 電池の残量が少なくなると、モーションセンサー検知窓の中の赤いランプが2~4秒ごとに0.1秒間点灯します。電池が切れるまで、約1週間点灯し続けます。電池切れ点滅中は使用不能ですので、気が付次第電池を交換してください。
- 電池が完全に切れたときや、電池が入っていないときは点滅しません。



40 壁面・スタンド共用マウントの使い方

■軒下又は壁面に取付ける場合。

- ①マウントをネジ取付穴を利用して付属のネジで固定します。
- ②モーションセンサー背面の壁面マウント取付部の幅の広い方に共用マウントを当て、モーションセンサー本体を引き下げてロックします。

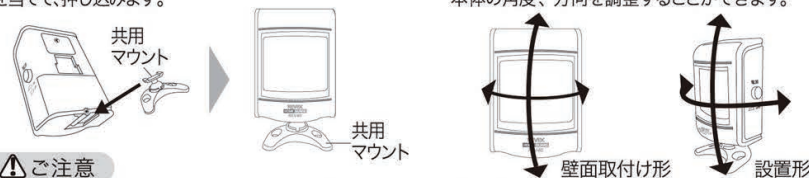


■机や棚の上に、スタンドとして使用する場合。

モーションセンサー底部のスタンド取付部に共用マウントを当てて、押し込みます。

■方向調整

壁面又はスタンドとして設置後、モーションセンサー本体の角度、方向を調整することができます。



⚠️ ご注意

- 調整するために動かすときは、ゆっくりと回してください。何回も回すと、保持力が低下する恐れがありますので、回すのは最低限で行ってください。
- 屋外の場合は、車の排ガス、通行人、動物、植物、湯沸かし器、冷暖房屋外機などで影響されないように設置してください。
- 直射日光や反射光がセンサーに直接当たる場所には設置しないでください。

40 受信機への登録

- 本機は単独では使えません。本機を登録して使用するには、ホームガードシリーズの受信機をご用意ください。
- 本機を複数の受信機に登録して、同時にチャイムやサイレンを鳴らすこともできます。

⚠️ ご注意 登録方法は受信機により異なりますので、ご使用になる受信機の説明書をご参照ください。

登録時のモーションセンサーの動作



- ①登録する受信機が「登録待ち」(ゆっくりとLEDが点滅します)になったら、モーションセンサーの電源スイッチをONにします。
- ②すると、約40秒間ウォームアップ状態になり、2.5秒送信、2秒休止を繰り返します(このとき赤いLEDが点滅を繰り返します)。
- ③このときにモーションセンサーから出る電波(IDコード)を受信機が受信すると、受信機のLEDは点灯になります。
- ④モーションセンサーを、このまま定位置に取付けて使用します(途中で電源を切ってもかまいません)。

40 仕様

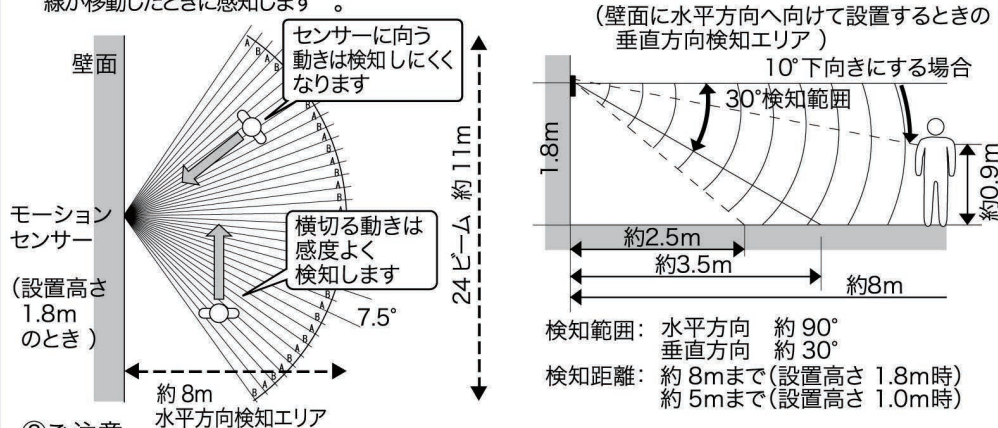
小電力セキュリティ
モーションセンサー(屋内・屋外兼用) REV40

電源	DC9V アルカリ電池 × 1コ
定格電圧	DC9V
消費電流	送信は 15mW、待機は 30μA 以下
使用周波数	426.8375MHz
電波到達距離	屋外見通し最大 200m/ 屋内見通し最大 100m
送信出力	10mW 以下
IDの数	128万通り
モーションセンサー検知距離	8m/ 高さ 1.8m、5m / 高さ 1m
検知動体速度	0.3m/ 秒~1.5m/ 秒
検知エリア	上下: 約 30°、左右: 約 90°
可変範囲(レンズフード装着)	15°、30°、45°、60°、75°、90°
連続検知間隔	12秒間隔
電池寿命	約6ヶ月(10回/1日、20°C時)
使用温度範囲	-10°C~+40°C/ 湿度 90%以下
防水性	IP44 防滴(防沫)構造
寸法	高さ 90×幅 62×奥行 45mm
質量	約 85g(電池を含まない本体質量)
ウォームアップ	電源 ON 時、40秒間断続送信(この送信電波で受信機に登録します)。40秒後、待ち受け監視状態になります。

40 モーションセンサーについて

① モーションセンサーとは？

- …人体から出る赤外線熱線の動きを温度変化として検知するセンサーです。
- センサーには、検知範囲があります(下図参照)。
- 動く方向により検知感度が変化します(下図参照)。
- センサーは90°の範囲で、24ビームに分割して監視しており、A、B、2つのビームエリアをまたいで赤外線が移動したときに感知します。



② ご注意

モーションセンサーは、以下のような場合に誤動作するか、動作しないことがあります。特に屋外設置時はご注意ください。

誤動作 …何らかの要因で検知範囲内の温度が急に変わったときは誤動作することがあります。

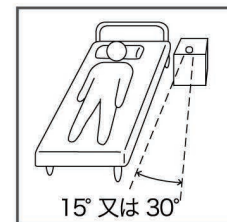
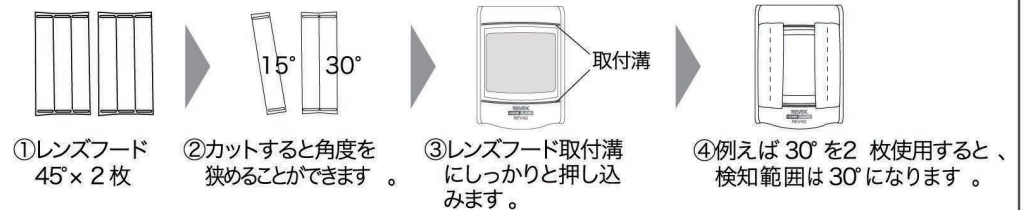
- ・検知範囲内に動く物がある(動物、植物の葉や花、扇風機、エアコン、洗濯物、カーテンなど)
- ・車の排気ガス、湯気、暖かい空気の移動(風など) ・冷暖房の室外機の風 ・直射日光や反射光が当たる時 ※気温の急激な変化や移動速度により検知範囲以外でも動作することがあります。
- ・大型車両が通ったとき。車が連続して通過しているとき。
- ・急に気温が上昇し強風が吹くとき、又は、壁面や地面の温度上昇が顕著なとき。

動作しない場合

- ・人が静止しているとき。
- ・人がセンサーに向かって動くとき。
- ・モーションセンサー表面やセンサーカバー(レンズ)表面が汚れたとき。凍結したとき。
- ・モーションセンサーは、ガラス越しでは感知しません。
- ・夏季に気温と体温が近いとき。
- ・冬季にコートや手袋などで身体が覆われているとき。
- ・傘などで身体が覆われているとき。
- ・検知範囲から外れているとき。
- ・検知範囲内に障害物があるとき(家具や照明器具、ポスト、給湯器、木の枝など)。

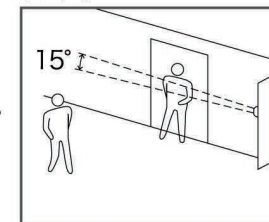
モーションセンサー検知範囲を調整できるレンズフードについて

- 取付場所や使用目的によっては、検知範囲を狭くして誤動作を少なくすることができます。
- 付属のセンサー検知範囲調整用レンズフード 45×2枚をカッターナイフでカットして使用してください°



便利な使い方

- 離床転倒防止用又は徘徊防止用として使用する。



便利な使い方

- 店舗やホテルに出入りする出入口を通過する人のみ検知する。
- 1度検知すると、12秒間は検知しません。従って、連続して出入りする場合、全ての人を検知することはできません。

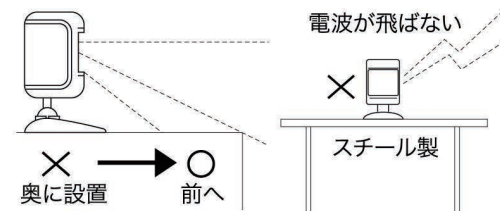
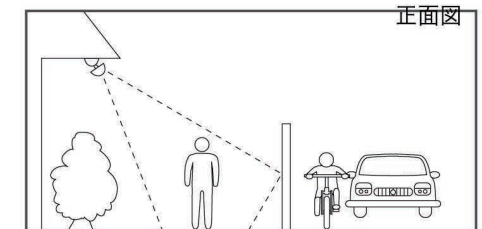
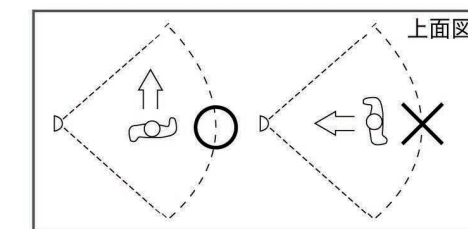
■モーションセンサーは床面から1m以上の高さに設置して使用してください。

■モーションセンサーは防雨形ですので、屋内・屋外どちらでも使用することができます。

■人が感知範囲を横切るように取り付けてください。

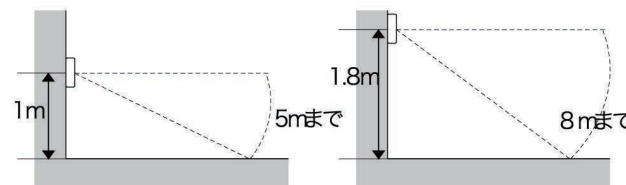
■上下の角度、左右の角度、検知の距離が最適になるように、モーションセンサーを調節してください°

■モーションセンサーは防雨形ですが、屋外で使用する場合は、直接雨のかからない軒下や壁面に取付けてください°



■モーションセンサー(送信機)を設置する高さを床、地面、スチール製家具面から、1m以上離して設置しますと、安定して電波が飛びます°

■モーションセンサーの検知距離は高い程遠くまで検知します。しかし、高すぎると誤動作が多くなります。



■モーションセンサーはガラス越しには感知しません。また、途中に障害物がある場合、障害物の先の動きは検知することができません°